

令和6年度(2024年度)多文化共生推進事業に関する予算案について

1 市全体の考え方

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む一方で、世界的な物価高騰等により、市民生活や地域経済は依然として大きな影響を受けている。また、少子高齢化や気候変動など社会変革を求める構造的な課題に直面している。

八王子市の財政見通しは、人口減少・少子高齢化の進行により収入は減少し、一方で社会保障関係費や公債費等の支出は増加するため、歳入・歳出のギャップが拡大する見込みであり、長期的に厳しい状況である。今後、必要な一般財源を確保するためには、経営改革の取り組みに加え、更なる対策が必要な状況である。

令和6年度(2024年度)は、本市の最上位計画である基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」の2年目となる。令和5年度の展開を踏まえ、計画に掲げる重点事業と経営改革の取組を着実に推進する。また、将来を見据え、多様化する社会課題に対応できる財源を確保しつつ、中長期的な視点に立った持続可能な行財政運営に取り組む予算とする。

また、デジタル化の恩恵を広く実感できる社会の実現に向け、「デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」に基づく取組、および、カーボンニュートラルの達成に向け、「地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、省エネルギーや再生可能エネルギーの活用による環境負荷の低減を図る取組を予算化する。

2 多文化共生推進課の予算

令和5年度に引き続き、外国人留学生支援事業など生活に密着した支援を行い、コミュニケーション能力の向上と地域との交流意識を醸成する取り組みを行う。留学生支援事業は、補助金制度見直し方針に基づき、より地域での活動を促すような制度とする。また、外国にルーツを持つ子どもに対する支援として、多文化キッズサロン事業を年度当初より実施する。

(1)外国人へのコミュニケーション・生活支援

多言語対応の充実、在住外国人サポートデスク、多文化キッズサロン事業など

(2)外国人留学生支援事業

住居賃貸代行保証料補助、日本語能力試験受験料補助など

(3)啓発事業

生涯学習フェスティバル内で国際交流コーナーの催し(多文化共生の集い)を実施、多文化共生に関する映画上映会の実施 など

(4)海外友好交流都市との交流

八王子まつりにおける受入、高雄市ランタンフェスティバルへの派遣など